

公社等外郭団体の改革方針（案）

団体名	(財)かずさディー・エヌ・エー研究所		所管所属名	商工労働部産業振興課	
事業内容	DNAの構造の解析研究、DNAの構造の解析技術に関する研究、DNAに関するデータ等の蓄積及び提供等を行う。				
財務状況	年度（単位：千円）		H18	H19	H20
	貸借対照表	総資産	5,088,231	5,155,684	5,231,078
		負債	182,126	209,246	508,821
		資本	4,906,106	4,946,437	4,722,257
		累積損益	88,106	128,437	95,743
	損益計算書	総収入	2,180,193	2,196,079	3,057,277
		経常損益	25,417	40,331	228,140
		当期損益	25,417	40,331	228,140
		減価償却前当期損益	934	63,577	222,270
		借入金残高	0	0	0
	県財政支出	委託料	0	0	5,904
		補助金・負担金	1,682,819	1,618,540	1,519,049
		その他	0	0	0
県関与の必要性	<p>（団体の必要性）</p> <p>かずさDNA研究所は、DNA解析という基礎研究の分野で世界的にも評価の高い研究活動を進めてきた。現在ではその成果をもとに、県内バイオ関連産業の高度化を支援する役割が求められているなど、その必要性が高い。実際に、30件を超える企業等との共同研究が現在進められているところである。</p> <p>なお、同研究所は、産学官が融合した柔軟な研究活動を行うため、財団法人として設立（文部科学省・経済産業省が認可）されており、今後も財団法人としての運営が適当である。</p>				
	<p>（県関与（人的・財政的）の必要性）</p> <p>かずさDNA研究所の高度な取組みの維持、成果の創出は、バイオ・ライフサイエンス分野の産学官のネットワークの充実や県内のバイオ関連企業等の新事業展開への波及など、県内バイオ関連産業の振興に大きな好影響を与えるものであり、引き続き県としても人的、財政的関与が必要である。</p>				
過去の見直し方針	分類	経営改善			
	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果の応用・実用化に向けた企業等との共同研究に、より一層積極的に取り組むこととし、県内バイオ・ライフサイエンス分野のネットワークの中核機関として、産業クラスター発展に向けた連携を強化する。 研究成果の活用等による自主財源の確保を図るとともに、国などの競争的資金導入の一層の強化を図る。 				

<p>現在までの取組状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産学官共同研究等による国等の競争的資金獲得状況 H 1 8 : 379,895,130 円 (11 件) H 1 9 : 451,093,770 円 (14 件) H 2 0 : 353,970,225 円 (16 件) 平成 1 9 年 1 0 月にバイオ産業技術支援センターを設置し、バイオ関連産業支援に取り組むとともに、当センターの事業収入による自主財源の確保に取り組んでいる。 																															
<p>役職員の状況</p>	<table border="0"> <tr> <td>常勤役員</td> <td>14</td> <td>2 名</td> <td>21</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>うち県OB</td> <td>14</td> <td>0 名</td> <td>21</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>うち県派遣</td> <td>14</td> <td>1 名</td> <td>21</td> <td>0 名</td> </tr> </table>	常勤役員	14	2 名	21	2 名	うち県OB	14	0 名	21	1 名	うち県派遣	14	1 名	21	0 名	<table border="0"> <tr> <td>常勤職員</td> <td>14</td> <td>7 2 名</td> <td>21</td> <td>7 0 名</td> </tr> <tr> <td>うち県OB</td> <td>14</td> <td>0 名</td> <td>21</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td>うち県派遣</td> <td>14</td> <td>9 名</td> <td>21</td> <td>7 名</td> </tr> </table>	常勤職員	14	7 2 名	21	7 0 名	うち県OB	14	0 名	21	0 名	うち県派遣	14	9 名	21	7 名
常勤役員	14	2 名	21	2 名																												
うち県OB	14	0 名	21	1 名																												
うち県派遣	14	1 名	21	0 名																												
常勤職員	14	7 2 名	21	7 0 名																												
うち県OB	14	0 名	21	0 名																												
うち県派遣	14	9 名	21	7 名																												
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の共同研究については、時代の要請に合った研究内容に重点化して推進していく必要がある。 バイオ産業技術支援センターの取組は始まったばかりであるが、企業等の研究開発動向やニーズを把握するためには、専門人材の登用や体制を強化する必要がある。 																															
<p>今後の改革方針(案)</p>	<p>分類</p>	<p>経営改善</p> <ul style="list-style-type: none"> かずさDNA研究所の今後のあり方及び県の役割、関与の仕方について関係者間で整理・検討していく。 社会的ニーズを踏まえ、研究成果の応用・実用化に向けた企業等との共同研究に、より一層積極的に取り組んでいく。 研究成果の活用等による自主財源の確保を図るとともに、国などの競争的資金導入の一層の強化を図る。 引き続き研究活動の充実、高度化を図っていくだけでなく、これまでの研究成果を社会に還元し、県内のバイオ関連産業の振興に貢献するため、バイオ産業技術支援センターの機能を強化する。 																														